

せいらんそう

社会福祉法人
会誌号
香報 2
第 2
2007年6月発行



牛ヶ谷保育園では毎月1回、地域の子育て家庭向けに「すくすく広場」を実施しています。写真は、平成19年5月16日に行った体操専門講師による「親子で楽しく体操をしませんか？」の一場面です。

もくじ

CONTENTS

19年度の抱負・・・2

内定者研修会

とインターンシップの報告

内定者研修会・・・3

インターンシップの報告・3

子育て・子育て支援・・・4

すくすくひろば・・・4

園庭・ホール開放・・・4

ありがとう

日本財団車輛・・・5

養護老人ホーム改修工事・5

障害児者施設

合同家族等説明会・・・6

芳香会スケジュール・・・6

編集後記・・・6



平成十九年度の新たな挑戦

社会福祉法人芳香会 法人本部

事務局長 宇留野 光子

今年度に配属した新入職員二十四名も、去る五月二十九日の本採用の辞令交付式には全員が発令の対象となりました。それぞれの職種が業務内容をきちんと理解するまでには、半年から一年間の【とき】が必要になります。焦らずに丁寧な仕事の積み重ねができるよう心がけて欲しいと要望します。多くの新任職員が、こんなに覚えることが多いとは・・・と共通の思いを持つようです。今後はそれぞれの職場の先輩による指導や研修内容を理解し、次のステップに臨める職員になってもらえることを願います。



平成19年5月29日 辞令交付式
於：地域交流ホーム

さて、このような新入職員を迎え十九年度における芳香会の新たな四つの目標を掲げてみました。

- 一 重点とする事業を選択し拡充する
 - ・ 障害者自立支援法にむけた地域移行体制の準備を推進する
 - ・ 高齢者の在宅事業担当者の拡充による対象地域の拡大
 - ・ 資格取得者の資質向上と研修の充実
- 二 社会貢献の実践事業所として役立つ
 - ・ 独自のインターンシップ受け入れ事業を企画化し、次世代育成の支援を実行する
 - ・ 中学生を対象とした【出前福祉講座】の実施
 - ・ 自治体が主催する資格取得講座の講師派遣や実習受け入れを積極的に行う
- 三 働く環境の改善策を保有し、質の良い福祉サービスを提供する
 - ・ 育児休暇のとりやすい職場づくり
 - ・ 時間管理ができる職員の育成に努める
 - ・ 学習力を高め、切磋琢磨する職場環境を常に目標とする
- 四 社会福祉法人の役割強化と中期計画の策定
 - ・ 五年、十年後のビジョンを描き組織変革に力を注ぐ
 - ・ 管理、幹部職員の育成や組織内共同体制を強化する

役員紹介

十九年六月一日
(敬称略)

理事長 赤羽 伸夫
理事 宇留野 光子

同 赤岩 茂
同 粕田 良一
同 秋山 哲之介
同 諏訪 芳明
同 高橋 重宏
以上、理事七名

監事 高山 忠雄
同 高谷 豊

評議員 綿引 治子
同 内田 文江
同 富山 茂
同 大木 誠
同 三浦 剛
同 坂本 英俊
同 吉原 國雄
同 前島 つや子
同 宮杉 早苗江
同 岡野 嬬代子
同 宇留野 功一
同 西村 孝
同 菅谷 勉
同 篠塚 志津
同 窪 誠勇

以上、評議員十五名

第三者委員

中山 征勇
野原 達男
塚田 久子
馬場 茂樹
以上、苦情解決第三者委員四名

働くことと

職業を理解すること

内定者研修会

当法人では平成十九年度新卒者二十四名を内定しました。そして、十九年三月二日（金）、三日（土）二日間の内定者研修会を古河市内の「平成館」において開催致しました。内定者のみなさんにいち早く福祉の仕事について学び、同僚・先輩職員と交流を深めるために次のような内容の研修を実施致しました。



一日目は「オリエンテーション」、「芳香会友の会墓地参拝」、「健康診断」を行った後、「三十五周年記念DVD視聴」、各施設長による講義を受講し、先輩職員からのお話、懇親会もあり親睦を深める良い機会になりました。

二日目は「障害者の地域生活についてのグループ討論」、「自己紹介カード作成」、講義が行われ、その後配属先担当者との打合せがあり職場についての理解を深めること

ができました。

今回の内定者研修会により、新任職員の方々の業務向上を図り、より充実した福祉サービスを提供していくよう精進致します。

インターシップ報告

平成十九年三月二十六日～四月六日の間、芳香会独自で高校生を対象にインターシップを実施しました。一人二日間の体験となりました。生徒さんが進路を決めるのに微力ながら役に立てればと、看護師、介護員、生活支援員、作業療法士、管理栄養士、様々な職種を応募いたしました。今年度、初めての試みでありましたが、十人の生徒さんに参加していただきました。

【看護師 実施担当より】

参加された動機が、本当に看護師になりたいのか確かめるため高校生とは思えないくらいにしっかりとっていました。教える事・指導することは、難しかったです。一対一ということでゆっくりと指導できたと思います。



【作業療法士 実施担当より】

利用者様とどういった視点で接しているのかどういったことをするのかということを通して

も伝わってほしいと思います

程を組みました。利用者様に実際に触れていただいたり、車椅子の乗車体験として自分で操作するだけでなく、他者に介助してもらうことや、利用者様にしているポジショニング等を自分の体で感じてもらうようにしました。開始当初は緊張していたようですが、利用者様と接しているうちに笑顔が見られたので良かったと思います。

【保育士 実施担当より】

初日、体験を始める前に「保育士になるために」ということで、「保育士の資格取得の仕方」や「主な保育士の仕事内容」の説明を資料を基に行いました。高校生にとっては初めて知ることが多かったようので今後の進路決定の参考となつたようです。

体験を終え、「保育士になりたい。」と参加者六人全員がそう思ってくれたことを嬉しく思います。保育士は様々な能力や知識・技術・経験が生かせる仕事です。今回の体験を生かし、これから先色々な経験を通し、自分自身の人格を高め、素晴らしい保育士になつて欲しいと思います。



児童福祉月間を終えて 変わる保育園

子育て家庭を応援

子育てを取り巻く環境は、少子化や社会情勢の変動等、様々な要因によって大きく変わっています。また、孤立感に起因する母親の育児不安や子どもの共感性の不足など、他人とかわる機会の欠如などの問題も目立つようになってきました。それゆえに、地域での子育て・子育ての仕組みや意識を構築していくことが今日の課題となっています。この課題は、子どもを中心とした豊かなまちづくりにもつながっていきます。

それでは子育てを考える時、何が大切なのでしょう。大切なことは色々あると思いますが、子育てを「どうする」ではなく、周りの人が「どのように」子供に接するかがその一つだと思います。そのことによって母親は自分の味方がいるということを感じ、勇気が湧いてきます。また、最近では「子育て支援」という言葉をよく耳にします。私たちも使っている言葉ですが、私たちが子育て家庭と接する時決して支えるという立場ではなく、子育てをする勇気を湧き立たせ自らやってみようという「応援」する気持ちで接しています。まさに「子育て応援」です。

子育ては、日常的な休みのない仕事です。子育てを楽しく感じられるよう「たま保育園・牛ヶ谷保育園」では、保育園や幼稚園などに通われていない地域の子育て家庭の応援として次のような活動を行っています。

ふれあい・すくすくひろば

ふれあい・すくすくひろばは、在宅の乳幼児とその保護者を保育園に招待し、交流会や相談会を行い、ふれあいの輪を広げることが目的として始めました。

活動内容は、月ごとに違います。季節の製作等を取り入れることが多いのですが、利用された方にアンケートに協力していただき、ご意見を取り入れていくこともあります。下の写真は、「お店屋さんごっこ」の様子です。



未就園児親子で触れ合うだけでなく、年に何回かは在園の子どもと触れ合う機会を作っています。

アンケートにも「保育園に通っているお友だちと遊ばせたい」と言うご意見が多いんです。親としては、友だちと仲良く遊べるかということも気になる所です。

きょうだいがない家庭にとっては、年上・下の友だちと遊ぶ経験にもなります。また、年に一回、保育園の給食を知っていただきます。



きたいと試食会も実施していただきます。ひろばの活動が、親子ともに楽しめる内容となるよう、今後も色々な企画を考えていきたいと思えます。

園庭（ホール）開放

園庭を無料にて開放しています。牛ヶ谷保育園では、ホールも開放しているため、雨天時でも利用できます。

○一歳児の小さいお子様にも裸足で遊べるホールはお勧めです。

当たり前のように地域の方がどの子ども同じように接する、本当の意味で地域ぐるみの子育てが実現するための欠かせない場所は保育園ではないでしょうか。保育園に遊びに来ることで、他の家庭の子育てを知り、同じ立場の親同士が共感しあひながら子育てを楽しんでみてはいかがでしょうか？そして、円になって、縁を大切に自らのパワーを出して輝く「エンパワー」を一緒に広げていきましょう！

一時保育サービスも行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。



お問い合わせ

たま保育園
TEL 結城市田間一九四四の二〇二九六（三五）一三六三

牛ヶ谷保育園
TEL 古河市西牛谷八四四の七三〇二八〇（九八）二七八三



ありがとう

当法人では、各種の補助事業を受け、福祉サービスの提供を行っております。今回は二つの補助事業の内容を紹介致します。

日本財団車輛

日本財団では、社会福祉の増進に寄与し、誰もが安心して暮らせる地域社会のお手伝いをさせていただくために、一九九四年度から福祉車輛の配備を支援し、現在財団使用の車椅子対応車・訪問入浴車が、全国で一万余台余り活躍しているそうです。現在、社会福祉法人芳香会では、日本財団より十四台の車輛の助成金を頂き購入致しました。

ご紹介させて頂きます。まず、園児の送迎に使用しております、たま保育園送迎バス(下記写真)。毎日園児の送迎を安全で快適に行ってもらっています。



続いて、車椅子の利用者が乗車出来ます、青嵐荘療護園のリフト付きハイエース(下記写真)。車椅子の利用者を、後ろのリフトから乗降し、乗車します。車内では車椅子のまま固定し、利用者も外出を楽しみにしています。



芳香会内日本財団寄付車輛一覧(14台)

事業所名	車輛
結城在宅介護支援センター	スズキアルト
たま	送迎バス
牛ヶ谷	送迎バス
療護園	日産キャラバン
ケア・アシスタンス	ハイエース2台
	スズキワゴンR
総和訪問看護	三菱トッポBJ
	ダイハツムーブ2台
総和訪問介護	三菱トッポBJ
	ダイハツタント
総和居宅支援	三菱EKワゴン
	ホンダライフ

養護老人ホーム改修工事

青嵐荘養護老人ホームでは、昨年十月から介護保険の在宅サービスを入所していながら受けられる「外部サービス利用型特定(介護予防特定)施設入居者生活介護」事業を行っております。制度やサービスは介護保険を利用することが可能となり、ソフト面では利用者の希望に沿えるようになりましたが、現存の建物について

広さや段差等、利用者にとつては非常に生活がしにくい環境となっております。

十八年末、国からの補助金活用について情報が入り、年明けより結城市・茨城県と調整をすすめ、二月中旬に改修に関する内示の交付を受けることができた。

具体的には、浴室と脱衣室の全面改修を行い、中間浴槽(右記写真)を設置するほか、普通浴槽を大衆浴槽型からユニットバス型へ変更し、段差も解消致しました。トイレも食堂のトイレ・洗面台を車椅子の方でも利用できる広さを確保し、介助バーを取り付け、暖房便座に切り替え(上記参照)しました。また、ナースコールの緊急通報設備を全面取り替えました。このように、利用者の皆様が快適に過ごせるよう設備の改修を行い、六月一日より使用しております。



今後も、このような補助事業に感謝をし、利用者へより良いサービスを提供していくことを約束致します。

障害者自立支援法を理解する

障害児者施設合同家族等説明会

去る四月三十日(月・祝)に古河市前林の生涯学習センター(とねミドリ館)にて芳香会内にあります四施設(青嵐荘療護園・芳香会病院青嵐荘療育園・青嵐荘つくし園・青嵐荘路のとう舎)を利用してのご家族を対象に、障害児者施設合同説明会を開催致しました。

当日は天候にも恵まれ、百三十八名(内説明会参加者百二十二名、当日預かり十五名)の方に参加頂きました。

説明会では、「障害者自立支援法」が施行された目的や法の概要に関する説明のほか、芳香会では今後、「ご利用者の「地域移行」を目標に様々な準備を進めており、そのビジョンについて説明をさせていただきます。

また、実際に「地域移行」された方の地域での生活を支援する新規事業の説明や、ケアホームの開設計画等について、担当者から説明を行いました。

説明会終了後に行ったアンケートでは、概ね好評を博すことができましたが、反面、制度移行による今後の生活へ



の不安の声や、より詳細な説明を希望されるご意見等も頂戴いたしました。

今後、ご利用者やご家族の不安を少しでも解消できるように、説明会や個別相談を行うしていきたいと考えております。

芳香会スケジュール

芳香会では、職員及び事業所全体の資質向上を図りサービスの向上を目指す為、左記の研修を今後予定しております。

役付職員研修会

日時 平成十九年六月十五日(金)
午後一時半～五時
場所 地域交流ホーム



個人情報保護推進研修会

日時 平成十九年六月二十日(水)
午後一時半～四時半
場所 ネーブルパーク研修センター平成館



編集後記

梅雨入りまもないこの時期に、猛暑の連続する日々が続きます。本当に地球は大丈夫でしょうか?多くの人が平和な安全な環境を望んでいるのに、不安感は大きくなるばかりです。人間の作り出した環境のつげはこれからも続くのでしょうか。明るくなる材料は自分次第ということでしょうか?

年金や介護の問題など暗いニュースが続く中で、「合計特殊出生率回復」との嬉しいニュースが飛び込んできました。何を隠そう、私も愛娘が昨年未だに誕生し、この合計特殊出生率の回復に貢献した一人です。社会貢献を実践する事業所の一人として、私生活においても社会に貢献できるよう、これからも頑張ります。

(酒)

社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp



写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。